



除草剤

ワイドアタック™ SC

水稲用除草剤

農林水産省登録
第22086号

(Wideattack™ SC)



種類名／ペノキスラム水和剤

有効成分の種類及び含有量／ペノキスラム……………3.6%

その他の成分の種類及び含有量／界面活性剤、水等……………96.4%

物理的・化学的性状／淡褐色水和性粘稠懸濁液体

毒劇法／該当なし

消防法／該当なし

有効年限／5年

包装／100ml×10本×2 ダンボール箱
500ml×20本 ダンボール箱

TM：デュポン、ダウ・アグロサイエンスもしくはパイオニアならびにこれらの関連会社または各所有者の商標

特長

- ペノキスラムはスルホンアミド系の除草剤で、雑草の茎葉から速やかに吸収され雑草のアミノ酸の生成を阻害し、枯死させます。
- 散布後は植物体内で速やかに分解されるので、イネへの安全性が高い薬剤です。
- 一成分で、ノビエをはじめ主要な広葉雑草やカヤツリグサ科雑草まで防除できます。
- 様々な雑草の広い生育ステージに対応できます。
- 品種や土壌、気象など様々な使用条件においても、水稲（5葉期以降）への安全性が認められています。
- 直播水稲や、飼料米にも使用できます。

適用雑草及び使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り 使用量		本剤及び ベノキスラム を含む農薬の 総使用回数	使用方法
			薬量	希釈水量		
移植水稲	一年生雑草及び 多年生広葉雑草	移植後20日 (稲5葉期以降)～ ノビエ6葉期 但し収穫30日前まで	100mℓ	100 ℓ	2回以内	落水散布 またはごく浅く 湛水して散布
直播水稲	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、 ウリカワ、ミズガヤツリ ヘラオモダカ、セリ ヒルムシロ	稲3葉期～ ノビエ5葉期 但し収穫30日前まで				雑草茎葉散布

上手な使い方

- 初期除草剤との体系で使用してください。
- 展着剤は加用せず、雑草の茎葉全体に均一に付着するように噴霧状に散布してください。
- 散布適期を越えると効果が劣るので、時期を失ないように散布してください。
(地域によって雑草の葉齢が違いますので、ノビエは「適用雑草及び使用方法」、多年生雑草は「使用上の注意」を参照してください。)



使用上の注意

- 本剤は懸濁性液体なので、使用の際は容器をよく振って均一な状態にしてから所定量を取り出してください。なお希釈は正確に行ってください。
- 散布液は使用当日に調製してください。
- 稲の出穂時の散布は葉害のおそれがあるので使用しないでください。
- 前処理剤との体系で使用し、雑草の発生状況をよく確認し、時期を失ないように適期に散布してください。
- 葉害のおそれがあるので展着剤は添加しないでください。
- 散布する前にできるだけ落水してください。落水ができない場合は、薬液が雑草に十分かかるようごく浅水状態にして、水の出入りを止め、撒きむらのないように均一に散布してください。
- 落水が不十分だと効果が劣るので注意してください。
- 散布は噴霧状に行い、薬液が雑草全体によくかかるようにしてください。
- 散布後少なくとも2日間（浅水処理は3日間）はそのままの状態を保ち、入水、落水、かけ流しはしないでください。また散布後7日間は降雨の有無にかかわらず落水、かけ流しはしないでください。

- 処理後1日以内に降雨があると効果が不十分になるおそれがあるので、晴天の持続する時を選んで使用してください。
- 本剤は生育期に入った雑草に効果がありますが、雑草、特に多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので必ず適期に散布してください。
 - ・ホタルイは、花茎抽出始まで
 - ・ウリカワ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカは、4～6葉期まで
 - ・ヒルムシロ、セリは、生育期まで
 - ・クログワイは、草丈20～30cmまで
 - ・オモダカは、草丈30cmまで
 - ・シズイは、草丈10cmまで
 - ・コウキヤガラは、草丈20cmまで
 - ・ミズアオイ（一年生雑草）は、3～4葉期まで
 - ・クサネム（一年生雑草）は、草丈20cmまで
- クログワイ、オモダカ、シズイ、コウキヤガラ防除は、それぞれの雑草に有効な前処理剤との組み合わせで使用してください。また、クログワイ、オモダカに有効な前処理剤との組み合わせで連年施用する事により、さらに効果が向上します。
- 葉害のおそれがあるので重複散布をさけてください。
- 軟弱稲では葉害のおそれがあるので使用はさけてください。
- 本剤の使用後に低温が続くと予想される場合には、稲に生育抑制などの葉害が発生するおそれがあるので、使用をさけてください。
- 葉害を生じるおそれがあるので、周辺作物にかからないよう十分注意してください。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合は充分注意してください。
- 散布機、ホース、ノズル、タンクなどの器具は、使用後速やかに水洗し、洗浄液は水田内で処理してください。また使用した器具などは、水稻以外には使用しないでください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合や、異常気象時は、病害虫防除所など関係機関の指導を受けてください。



安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- 散布の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。

水産動植物…使用残りの薬液が生じないよう調製を行い、使い切ってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川などに流さないでください。また、空容器は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管…直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管してください。